

# 市長就任から1年

## 市民の皆様はじめ多くの方々に感謝

○この一年間、会議やイベント等に出席し、一番近い距離でまち・人と接す。  
改めて糸島市のパワーを認識。反面、財政状況など現実の厳しさも痛感

【この一年間の率直な感想】

- ◎市民の生命・身体・財産を守る責任の大きさを実感
- ◎市民の皆様の方が大きい（校区まちづくり、市民まつり、福岡マラソン、民間イベントなど）
- ◎糸島の魅力への評価の高さ⇒手応えを感じるとともに、その評価の維持・向上への覚悟
- ◎将来的な財政の厳しさ⇒平成27年度から減りだす交付税、増大する社会保障費

「東京事務所サービス」や「マイホーム取得奨励金」の実現は、1年目での成果

## 平成27年度 ステップアップへの節目の年

○合併5年が経過。庁舎統合、交付税の削減開始、後期基本計画策定など

- 4月1日から消防を除くすべての部署を本庁舎に集約（合併時の約束どおり）  
⇒スムーズな庁舎統合が実現できたことで、合併効果を発揮
- 行政機能の集約、組織改編によるスリム化と政策機能の強化
- 二丈・志摩庁舎は、図書館、子育て支援センターの拡充等
- 新しい形の市民サービスを開始（諸証明のコンビニ交付）



# 平成27年度の展望

## 最大の課題は人口減少対策

### ○特に若い世代の定住促進につながる施策を総合的かつ積極的に取り組む

- ◎子育てしやすい環境、糸島ならではの教育環境の整備・充実
- ◎暮らしやすい生活環境・都市基盤の整備
- ◎情報（魅力）の強力発信（内外ともに）
- ◎九州大学との距離をより一層縮める連携・交流
- ◎農林水産業や地元商工業の担い手育成、企業・研究所誘致
- ◎安全・安心のまちづくり（健康づくり推進、地域防災強化）



## 総合力アップへ 攻めの予算(ステップアップ予算) 一般会計総額332億8千万円(最大)

### ○子育て・教育環境の充実・強化

- ◎子ども医療費（入院費）拡充（就学前⇒小学3年生）：1,500万円
- ◎放課後児童クラブ対象学年拡大（小学3年生⇒6年生）整備事業（施設・備品）：470万円
- ◎小中学校普通教室空調設備整備設計（熱中症、PM.2.5等対策強化）：1,210万円
- ◎学力向上事業（九大生による「伊都塾」や九大教授による教諭向け指導力向上講座）：53万円
- ◎英語力向上事業（九大留学生等による小学生への英語指導、教材等整備）：99万円
- ◎小学校英語教育推進事業（小学校教諭の英語指導力向上のための教材・指導書開発）：114万円
- ◎中学校少人数学級推進事業（中学1年生35人学級編成のための市負担教諭任用）：1,687万円
- ◎中学校英語検定推進事業（中学3年生を対象に英検3級試験の受験料一部補助）：100万円
- ◎ICT教育推進事業（研究校1校に対しタブレット端末、電子黒板等を整備）：470万円



# 発展と堅実のバランス



## ○生活環境・都市基盤の整備

- ◎前原東土地区画整理事業（区域内道路、公園、水路等の整備に対する補助）：1億9,521万円
- ◎新駅周辺道路整備事業（測量・用地買収等）：1,970万円
- ◎新駅北口停車場線整備事業（拡幅工事のための測量・設計）：1,307万円
- ◎筑前深江駅周辺整備事業（駅前広場、駅舎・自由通路整備）：4億618万円
- ◎運動公園等PFI導入可能性調査業務（多目的体育館等の整備手法を検討）：1,285万円
- ◎多目的ホール整備事業（ぱぴるす館跡地に小規模多目的ホールを整備）：8,710万円

## ○安全・安心のまちづくり

- ◎地域包括ケアシステム構築事業（市を5つの圏域に分け、それぞれに地域包括支援センターを設置し、医療、介護、見守りなどを実施）：1億1,106万円
- ◎校区健康づくり推進事業（各校区に担当保健師を配置し、実情に合った支援実施）：90万円
- ◎元気高齢者対策事業（タッチパネル式PCを活用した認知症早期発見等）：207万円

## ○市民サービス、行財政改革

- ◎諸証明発行等窓口業務（庁舎統合後の住民サービスの確保のため）：897万円
- ◎コンビニエンスストア諸証明交付導入事業（H28年1月に開始予定の個人番号カードに証明書等の自動交付機能を付加し、全国提携コンビニの端末で諸証明を発行）：1,966万円
- ◎ホームページリニューアル事業（閲覧者により分かりやすいHPの構築）：926万円
- ◎公共施設等総合管理計画策定事業（公共施設の統廃合・長寿命化の計画策定）：548万円
- ◎市役所の仕事総点検事業（事務事業を総点検し、執行体制・方法を見直す）：973万円
- ◎ふるさと応援寄附推進事業（寄附者に贈呈する特産品等のパンフレット等作成）：519万円